

# 大田区立図書館の今後のあり方について検討報告書

( 原 案 )

教育総務部大田図書館

# 目次

第1 区立図書館整備のあゆみ	1
第2 図書館の現状	3
1 これまでの運営方針	3
2 管理運営	6
3 開館時間	6
4 休館日	6
5 図書館資料	7
6 図書館サービス	9
(1) 貸出しサービス	9
(2) 情報サービス	10
(3) 地域の課題に対応したサービス	11
(4) 利用者に対応したサービス	12
(5) 多様な学習機会の提供	16
(6) ボランティア活動等の促進	16
第3 区立図書館の課題と解決に向けた方向性	17
1 施設配置	17
2 建物の更新	18
3 管理運営	19
4 休館日、開館時間	20
5 図書館資料	21
6 図書館サービス	23
(1) 貸出しサービス	23
(2) 情報サービス	27
(3) 地域の課題に対応したサービス	29
(4) 利用者に対応したサービス	29
(5) 多様な学習機会の提供	34
(6) ボランティア活動等の促進	37
第4 区立図書館の今後のあり方	37
1 区立図書館運営の基本的な考え方	37
2 施策体系案	39
3 個別事業案	40
第5 新たな図書館運営を目指して	44

## 第1 区立図書館整備のあゆみ

昭和31年に池上図書館が本区で最初の区立図書館として開館しました。当時、本区は23区の中で区立図書館を持たない4区の中の1区でした。図書館設置は後発となったものの、池上図書館は当時としては先進的な運営方法を採用することで注目を集めました。それまで図書館は、目録カードから図書を選んで館内で閲覧する「閉架式」と言われる図書館が多くを占めていましたが、池上図書館では利用者が書架室に入って自由に図書を選んで閲覧できる「開架式」を採用し、また、当時あまり例のなかった図書の貸出しを行いました。昭和35年3月には、洗足池図書館と蒲田図書館が開館し、この年の7月にハーバード大学図書館副館長で国際ユネスコ図書館委員長を務めていたD.W.ブライアント氏が洗足池図書館を訪れ、その先進性に驚き全世界に紹介した、という報道が行われています。

○毎日新聞 昭和38年10月1日付記事

世界に紹介される洗足池図書館～自慢の“自由開架式”

この七月、東京をはじめ全国九地区で開かれた国・公立大学図書館協議会のセミナーに、講師として招かれたハーバード大学の図書館副館長で国際ユネスコ図書館委員長をしているD.W.ブライアント氏(50)が、たまたま洗足池図書館をたずねて館内を見学したさいその施設と運営のすばらしさにびっくり、日本の代表的図書館として折り紙をつけ、図書館国際セミナーの席上、全世界に紹介することになったもの。(中略)

同図書館は洗足池のほとりにあり、五千万円の予算ですすめられていた改築工事もこの二月に完成、鉄筋二階建延べ七百平方メートルのモダンな建物。

そのうえ日本の図書館では珍しい自由開架式の図書閲覧方法が採用されており、これがブライアント氏の目にとまった。これはいままでの読書カードの記入などいっさいの手数がはぶけ、入館者は自由に書庫へ出入りし、読みたい本を書ダナから自由に選び出せるようになっている。しかも閲覧中の混雑をさけるため、閲覧室の二百五十五のイスは全部指定席になっているほか、少年室を設け、子供たちも気軽に閲覧できるなどいたれりつくせりの設備。

すべて利用者にとって便利なような仕組みになっていて、いままでの「本をみせてやる」といった旧式の閲覧方法にくらべると非常に近代化されているのが特徴。このため、現在は一日八百から九百人、休日は千三百人前後の利用があり、いつも超満員の盛況を見せている。

(「大田区史 第十二章 高度成長下の生活と文化 第一節 区民施設の拡充と整備」より転載)

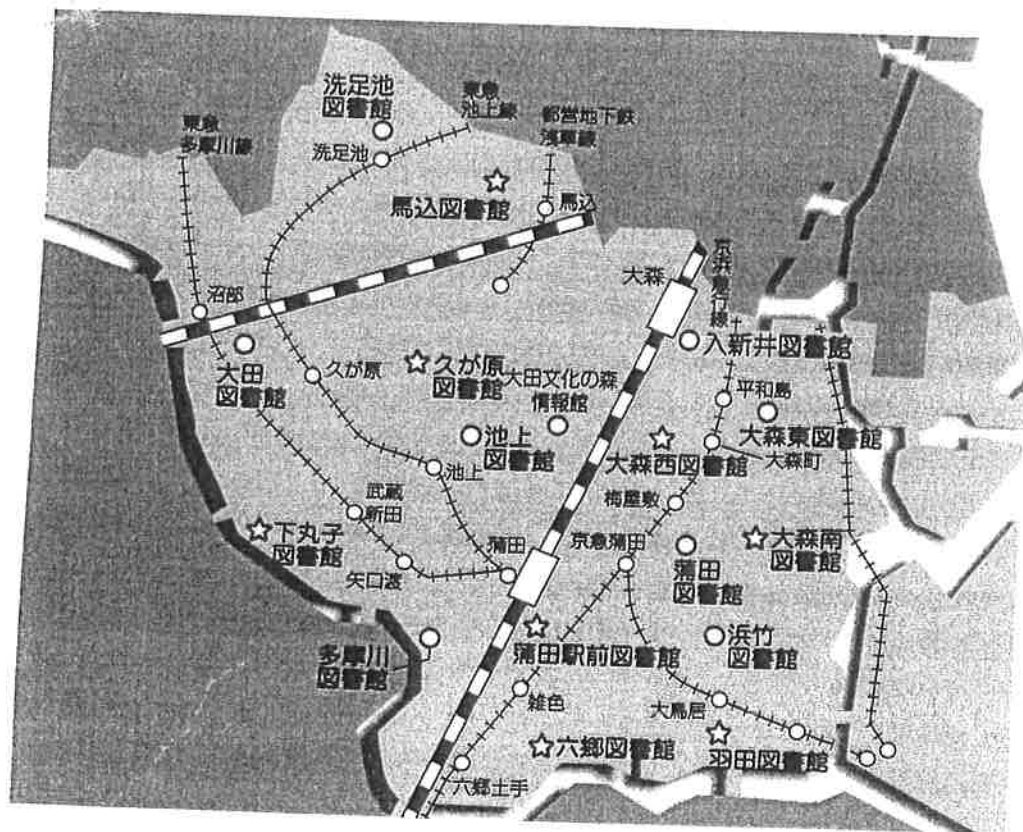
この後、区は昭和41年度からの行政施設建設五カ年計画に基づき大田図書館(昭和45年)、馬込図書館(昭和46年)、浜竹図書館(昭和46年)、六郷図書館(昭和47年)を開館しています。

昭和49年第4回区議会定例会では、区長及び教育長が「5万人に1館」を骨子とする図

書館建設計画を発表しました。これは、人口 5 万人、半径 900 メートル圏内に 1 館を各地域に配置し、区民が歩いて 15 分以内でいずれかの図書館を利用できるようにすることを目指したものです。この計画により、入新井図書館(昭和 49 年)、下丸子図書館(昭和 50 年)、大森南図書館(昭和 51 年)、蒲田駅前図書館(昭和 56 年)、大森東図書館(昭和 57 年)、多摩川図書館(昭和 58 年)、久が原図書館(昭和 59 年)、大森西図書館(昭和 61 年)が整備され、平成 6 年には羽田図書館が加わり、16 館となりました。現在、大田区は 23 区の中でも世田谷区と並んで最も図書館数の多い区となっています。

なお、本区には、このほか図書館同種施設として、平成 13 年に開設された大田文化の森情報館があります。

図 1 区内の図書館配置



\*○は、第 2 木曜日が休館日の館、☆印は、第 3 木曜日が休館日の館を表す。

\*大田文化の森情報館は、図書コーナーが設置されており、図書館同種施設と位置付けられています。

表1 図書館施設の概要

No	館名	所在地	床面積(m <sup>2</sup> )	開館年月	閲覧席
1	大出	出園調布南 25-1	2,151	昭和 45 年 6 月	292
2	大森南	大森南 1-17-7	1,199	昭和 51 年 11 月	145
3	大森東	大森東 1-31-3-104	1,250	昭和 57 年 5 月	161
4	大森西	大森西 5-2-13	1,201	昭和 61 年 8 月	140
5	入新井	大森北 1-10-14	1,015	昭和 49 年 8 月 平成 23 年 3 月移転	146
6	馬込	中馬込 2-26-10	1,608	昭和 46 年 5 月	306
7	池上	池上 3-27-6	1,050	昭和 31 年 6 月 昭和 63 年 4 月移転	102
8	久が原	久が原 2-28-4	1,200	昭和 59 年 10 月	206
9	洗足池	南千束 2-2-10	1,254	昭和 35 年 3 月 平成 8 年 7 月改築	201
10	浜竹	西糀谷 3-32-7	984	昭和 46 年 8 月 平成 15 年 10 月移築	123
11	羽田	羽田 1-11-1	1,300	平成 6 年 12 月	185
12	六郷※	南六郷 3-10-16	546	仮設中	52
13	下丸子	下丸子 2-18-11	1,764	昭和 50 年 9 月	237
14	多摩川	多摩川 2-24-63	1,211	昭和 58 年 8 月	187
15	蒲田	東蒲田 1-19-22	1,259	昭和 35 年 3 月 平成 3 年 10 月移築	169
16	蒲田駅前	蒲田 5-13-26-301	1,710	昭和 56 年 4 月	197
				計	2,849

※六郷図書館は、現在改築工事中で平成 28 年 4 月から平成 30 年秋(予定)まで仮設で運営中。

## 第2 図書館の現状

### 1 これまでの運営方針

大田区では、平成 20 年に新たな大田区基本構想を定めました。基本構想では、「区民が自ら考え行動し、まちの未来を開きます。」「安心と魅力を備えた都市(まち)を次世代へと贈ります。」「人と人とのつながりが、優しいまちをつくります。」という基本理念の下に、区の将来像を「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市おおた」とし、この将来像を実現するために 3 つの基本目標と 9 つの個別目標を掲げています。この基本構想に沿って、平成 21 年 3 月に「大田区 10 年基本計画 おおた未来プラン 10 年」が策定され、同計画は、10 年計画の折り返し点である平成 26 年 3 月に「大田区 10 年基本計画 おおた未来プラン 10 年(後期)」として改訂されています。

この「大田未来プラン10年（後期）」において区立図書館の運営は、

基本目標「生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち」

個別目標「誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります。」

施策体系「区民の主体的な生涯学習の仕組みづくり」

の中の、「図書館を活用した学習環境の整備・展開」という重点施策に位置づけられています。平成26年度から平成30年度までの年次計画と平成28年度までの達成状況は、下表のとおりとなっています。

「大田区10か年基本計画 おおた未来プラン10年（後期）」図書館関連項目

■図書館を活用した学習環境の整備・展開

老朽化の進んでいる図書館の改築・改修にあたっては、地域特性を活かした情報拠点として機能の向上を図ります。子どもから高齢者までの区民の学びの場となるよう環境を整備します。

項目	事業名	進捗状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
図書館の改築・改修	六郷図書館の改築	計画	—	—	工事	竣工	—
		実績	—	—	工事		
	老朽化館の改築・改修	計画	推進	推進	推進	推進	推進
		実績	推進	下丸子耐震改修	推進		
図書館サービスの充実	インターネット環境の整備	計画	運用・活用	運用・活用	運用・活用	運用・活用	運用・活用
		実績	運用・活用	公衆無線LAN開始	運用・活用		
	学校図書館との連携※	計画	検討	推進	推進	推進	推進
		実績	11校	87校	87校		
	図書館利用促進	計画	検討	推進	推進	推進	推進
		実績	検討	推進	推進		

※学校図書館支援事業（区立図書館司書が区立小中学校に出向いて学校図書館運営を支援する事業。詳細はp13）の実施校数

また、大田区教育委員会では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成16年度から三次に渡る「大田区子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に努めています。平成23年度から平成27年度までを計画期間とする第二次計画に掲げた区立図書館に関する目標値と達成状況は次のとおりで、区立図書館の児童図書蔵書数と児童図書貸出冊数(個人貸出)共に目標を達成することができました。

■大田区子ども読書活動推進計画（第二次）における区立図書館関連の目標と達成状況

項目	平成 22 年度 実績	平成 27 年度 目標値	平成 27 年度 実績
区立図書館の児童図書蔵書数	392,971 冊	412,000 冊	435,746 冊
区立図書館の児童図書貸出冊数 (個人貸出)	1,375,609 冊	1,700,000 冊	1,830,355 冊

現在、子どもの成長発達段階に応じた読書推進を掲げた平成 28 年度から平成 32 年度までを計画期間とする第三次計画を推進していますが、その中で区立図書館も積極的に次表に示す施策を推進しているところです。

■大田区子ども読書活動推進計画（第三次）における区立図書館関連の取組事業

事業体系大項目	事業体系中項目	区立図書館事業名
Ⅰ 幼児期の指導： 本との出会いと読書習慣の基礎づくり	1 本との出会いの機会づくり	区立図書館の絵本コーナーの改善・工夫 区立図書館における「子ども読書の日」 「読書週間」行事の実施
	2 幼児期の読書体験の推進	区立図書館におけるおはなし会の開催 読み聞かせの人材育成 ①読み聞かせボランティア等の養成 ②大田区立図書館ボランティア懇談会の開催
	3 乳幼児期の読書啓発	区立図書館ホームページによる広報
Ⅱ 学齢期の指導： 発達段階に合わせた読書力の向上	2 本との出会いの機会の創出	小学校 1 年生への図書館案内の配布 区立図書館による学校図書館支援 ①団体貸出 ②学校図書館支援事業
		区立図書館における「子ども読書の日」 「読書週間」行事の実施（再掲）
		区立図書館における計画的な図書資料の収集 団体貸出の実施（再掲） 障がいのある子どもへの読書活動の推進 六郷図書館の改築
Ⅲ 生涯を通じて自ら本を選び学ぶことのできる読書環境の整備	1 読書環境の整備	区立図書館における計画的な図書資料の収集 団体貸出の実施（再掲） 障がいのある子どもへの読書活動の推進 六郷図書館の改築
	2 区立図書館員の資質の向上	職員研修の実施 区立図書館ネットワークの強化

■大田区子ども読書活動推進計画（第三次）における区立図書館関連の目標

項目	平成 32 年度目標値
区立図書館の児童図書蔵書数	460,000 冊
区立図書館の児童図書貸出冊数(個人貸出)	1,950,000 冊

## 2 管理運営

区としての所蔵図書を選定基準等の運営上の方針決定や施策の企画・立案等を担う中央館としての役割を大田図書館が担い、その他の図書館は地域館として、大田図書館の方針を踏まえ、地域特性を考慮しながら、運営されています。

館の運営については、平成 15 年度から一部委託を開始し、平成 18 年度までに全館に拡大した後、平成 19 年度からは、大田図書館を除き全館で指定管理者制度に移行しました。大田図書館は、中央館としての役割を担う管理部門については区職員による直営を維持することとし、事業部門のみを一部業務委託としています。指定管理者制度により運営されている地域館については、毎年モニタリングを実施しています。モニタリングは、管理、職員、運営、情報管理、安全・危機管理、施設管理、清掃の 7 分野 32 項目について、指定管理者自身の自己評価と図書館を所管する大田図書館管理部門による評価を行うほか、財務状況については、公認会計士による財務審査を行って、適切で健全な運営を図っています。

## 3 開館時間

開館時間は、午前 9 時から午後 7 時までとされていますが、勤労者が利用しやすい大森駅近くの新井図書館と蒲田駅近くの蒲田前図書館の 2 館については閉館時刻を午後 8 時までと延長しています。なお、1 月 4 日は、年末年始の連続休館明けの準備時間を見込んで全館午前 10 時開館としています。

## 4 休館日

月 1 回を休館日としています。16 館を毎月第 2 木曜日（大田、大森東、入新井、池上、洗足池、浜竹、多摩川、蒲田）を休館日とするグループと毎月第 3 木曜日（大森南、大森西、馬込、久が原、羽田、六郷、下丸子、蒲田駅前）を休館日とするグループに分け、隣接する館を異なるグループに振り分けることで、その地域の図書館が全て休館となることがないようにしているほか、休館日が祝日と重なった場合は開館して、その翌日を休館日とし、区民の利用ニーズに配慮しています。休館日も図書館職員が全員出勤して、窓口対応、著作権、個人情報保護などをテーマとする研修を行っています。

また、図書整理のため、前記のほかに特別整理期間として、館ごとに年間 7 日以内(大田図書館のみ蔵書数が多いため 10 日以内)の休館日を設けているほか、年末年始は、12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までを休館としています。



図書館同種施設である大田文化の森情報図書コーナーは、毎月第 2 木曜日を定期休館日とする区立図書館と同じ開館日、開館時間としています。

## 5 図書館資料

区立図書館では、館ごとに分野を決めて集中的に収集を行うことで、区立図書館全体で区民の高度な調査ニーズに応えられるような蔵書を行っています(表 2)。また、収集する図書の選定については、平成 14 年度から大田図書館が中心となって一元的に行うこととし、平成 16 年には大田区立図書館選書基準(平成 16 年 3 月 24 日付大図発第 457 号大田図書館長決定)を定め、効率的、効果的な収集を目指しています。

図書以外の所蔵資料としては、視聴覚資料として CD、DVD、カセットテープがあります。ビデオテープについては、洗足池、蒲田、羽田の 3 館で教育・教養的なビデオ資料の収集をしており、平成 27 年度からは、児童向けアニメ作品などを含め DVD の所蔵を開始しました。その他の館では、大田区製作の広報ビデオを中心に所蔵してきましたが、平成 28 年度からは全館で DVD の収集を開始しています。

なお、特定の資料を特別に保存する館として、CD は蒲田図書館、雑誌のバックナンバーは、蒲田駅前図書館、絶版等の児童書には下丸子図書館を指定しています。

表2 館別分担収集表

No	館名	分担する分野
1	大田	00 総記、01 図書館、02 図書、書誌学、03 百科事典、04 一般論文、講演集、05 逐次刊行物、06 学会、団体、研究調査機関、07 ジャーナリズム、08 叢書、全集、09 貴重書、郷土資料、20 歴史総記、21 日本史、22 アジア史、東洋史、23 ヨーロッパ史、西洋史、24 アフリカ史、25 北アメリカ史、26 南アメリカ史、27 オセアニア史、90 文学総記、91 日本文学、92 中国、東洋文学、93 英米文学、94 ドイツ文学、95 フランス文学、96 スペイン文学、97 イタリア文学、98 ロシア文学、99 その他諸文学
2	大森南	46 生物化学、一般生物学、47 植物学、48 動物学、60 産業総記、61 農業、62 園芸、造園、63 蚕糸業、64 畜産業、獣医学、65 林業、66 水産業
3	大森東	70 芸術、美術、71 彫刻、72 絵画、書道、73 版画、75 工芸
4	大森西	67 商業、68 運輸、交通、69 通信事業
5	入新井	33 経済、34 財政
6	馬込	37 教育
7	池上	10 哲学総記、11 哲学各論、12 東洋思想、13 西洋思想、14 心理学、15 倫理学、16 宗教、17 神道、18 仏教、19 キリスト教
8	久が原	28 伝記、29 地理、地誌、紀行
9	浜竹	78 スポーツ、体育、79 諸芸、娯楽
10	洗足池	32 法律、76 音楽、77 演劇
11	羽田	40 自然科学総記、41 数学、42 物理学、43 化学、44 天文学、宇宙科学、45 地球科学、地学、地質学、80 言語総記、81 日本語、82 中国語、83 英語、84 ドイツ語、85 フランス語、86 スペイン語、87 イタリア語、88 ロシア語、89 その他諸言語
12	六郷	30 社会科学総記、31 政治、39 国防、軍事
13	下丸子	38 風俗習慣、民俗学、59 家政学、生活科学、74 写真
14	多摩川	36 社会
15	蒲田	50 技術、工学、51 建設工学、土木工学、52 建築学、53 機械工学、54 電気工学、55 海洋工学、船舶工学、56 金属工学、鉱山工学、57 化学工業、58 製造業
16	蒲田駅前	35 統計、49 医学、薬学

\*分類は「日本十進分類表 新訂9版」による

## 6 図書館サービス

### (1) 貸出しサービス

#### ア 個人への貸出し

稀覯本や歴史的価値のある古文書、劣化が進み滅失の恐れのある希少な図書及び参考図書類の一部を館内利用に限定していますが、原則として全ての図書資料の貸出に応じています。視聴覚資料を除く図書や雑誌については、東京都立図書館、特別区城南ブロック（大田、品川、渋谷、世田谷、目黒）の区立図書館をはじめ都内公立図書館や、国立国会図書館から借用して提供することも可能としています(相互貸借)。特に、東京都立図書館、特別区城南ブロックの区立図書館、国立国会図書館については、インターネット検索システムにより、蔵書検索が可能な環境を整えています。

貸出しを受けられるのは、区内在住、在勤、在学者としており、貸出点数は図書・雑誌 1 回 12 冊、視聴覚資料 1 回 6 点まで、貸出期間は 2 週間以内としています。

貸出しを受けるには、登録して「共通かしだしカード」の交付を受ける必要があります。登録手続きには、住所を確認できる書類(身分証明書、運転免許証、健康保険証、学生証など)の提示を求めて本人確認を行っています。また、中学生以下の子どもには、保護者等の保証人を求めています。「共通かしだしカード」は、大田文化の森情報館図書コーナーを含め全館で使用が可能となっており、貸出期限から返却が 4 週間以上遅れた場合には、ペナルティとして延滞している図書資料が返却されるまでの期間、新たな貸出しと予約の受付を停止しています。

#### イ 予約・リクエストサービス

図書館に登録している利用者が、貸出しを希望する図書資料が貸出中の場合は、貸出予約を受け付けています。予約は、図書館カウンターだけではなく、電話、FAX 及びインターネット(館内に設置された端末を含む。)でも受け付けています。全ての区立図書館の貸出し可能な図書資料を予約することが可能で、利用者が指定した区立図書館で受け取ることができます。

また、区立図書館が所蔵していない図書については、リクエストとして受け付け、大田区立以外の公立図書館から借用したり(相互貸借)、選書基準等に適合するものであれば新規に購入することで要望に応じています。

#### ウ 団体貸出し

区民活動、生涯学習活動を振興することを目的として、読書支援団体及び区民活動団体のうち、10 人以上の団体に図書資料を 1 回あたり 100 点以内、貸出期間を 1 か月以内として貸し出しています。貸出しの実績がある団体は、小・中学校、保育園、児童館のほか、読み聞かせサークル、介護施設、障がい者施設等となっています。

## (2) 情報サービス

### ア レファレンス(参考調査)

利用者が必要な図書や資料を探すアドバイスをしたり、関連する情報の提供を行うレファレンスサービスを行っています。書架案内、端末での検索のほか、参考資料等を駆使してできる限り利用者の調査の援助を行っています。図書館カウンターで直接依頼を受けるほか、電話や手紙などによる問い合わせにも応じています。

#### ◆レファレンスの実例

- 区議会に出された陳情の審議内容を見たい。
- 大田区議会会議検索システムを活用して調査し、利用者に案内した。
  
- 大田区立小・中学校の周年記念誌を見たい。
- 小・中学校の周年記念誌は、教育センター教育図書室で閲覧できることを案内した。
  
- 大田区の水害について戦前の資料が見たい。
- 大田区の水害関係資料を案内すると共に「防災専門図書館」を紹介した。
  
- 大田区が舞台の小説を知りたい。
- レファレンス用にまとめていたリストから案内した。

### イ 商用データベースの利用

各館では、2つの商用データベースと契約し、利用者の調査ニーズに応じています。

- ・ 聞蔵Ⅱビジュアル(朝日新聞)……朝日新聞 1985～、朝日新聞縮刷版(1945～1999)
- ・ D1-Low.com(第一法規)……現行法規、判例体系、法律判例文献情報

### ウ インターネット検索システム

区立図書館専用サイトを開設し、インターネットを通じて、全ての区立図書館が所蔵する貸出し可能な図書資料の検索、照会、貸出し予約、貸出し・取置期限の延長、メールアドレス登録、図書館休館日・行事確認等ができるようになっていきます。館からは、電子メールによる予約連絡や返却の督促を行っています。

### エ 視聴覚資料の館内鑑賞サービス

視聴覚資料のうち、CDについては、下丸子図書館を除く全館、カセットテープについては、大田、大森東、大森西、池上、浜竹、多摩川の各図書館でヘッドホンによる鑑賞を可能としています。

ビデオ資料を収集している洗足池、蒲田、羽田の3館では、館内にビデオ及びDVDの視

聴環境を整えています。

表3 各館の視聴覚用設備 ○…試聴・視聴可 ×…試聴・視聴不可

館名	CD	カセット	ビデオ・DVD
大田	○	○	×
大森南	○	×	×
大森東	○	○	×
大森西	○	○	×
入新井	○	×	×
馬込	○	×	×
池上	○	○	×
久が原	○	×	×
洗足池	○	×	○
浜竹	○	○	×
羽田	○	×	○
六郷	○	×	×
下丸子	×	×	×
多摩川	○	○	×
蒲田	○	×	○
蒲田駅前	○	×	×

#### オ 公衆無線LAN接続サービス

来館者が持参した携帯端末等を使用してインターネット検索等の調査を行えるよう、無料の公衆無線 LAN 接続サービスを実施しています。来館者は、1 時間まで公衆無線 LAN を使ったインターネット接続を利用することができます。1 時間を超えた場合は、再接続を繰り返すことで、1 時間単位で延長して使用できます。

#### カ 複写サービス

調査・研究を目的として、大田区立図書館所蔵の図書資料を複写できるコピーサービスを全館で行っています。複写できるのは著作権法に基づき、一著作物の一部分を 1 人について 1 部です(※)。用紙のサイズは、A3、A4、B4(大田図書館と馬込図書館は B5 も利用可能)があります。実費負担として各サイズとも 1 枚 10 円を徴収しています。

※「一部分」とは著作物の半分以下と解釈されています。ただし、発行後相当期間(次の号が出るまで)を経過した雑誌、新聞等の論文、記事等は全部を複写することができます。

#### (3) 地域の課題に対応したサービス

入新井、蒲田駅前、下丸子図書館の 3 館には、特定の分野の蔵書の紹介やその分野の集会行事を行うなどの「特設コーナー」を設置しています。コーナーにはその分野のより高度なレファレンスが行えるよう、専任の司書を配置しています。

○入新井図書館 《ビジネス支援コーナー》

ビジネスに重点を置いた蔵書を行っているほか、大田区中小企業診断士会による「まちかど経営・創業相談会」を定期的を開催している。

○蒲田駅前図書館 《医療・介護情報コーナー》

医療・介護に重点を置いた蔵書を行い、医療・介護専用のレファレンスコーナーを設置しているほか、介護相談会も開催した。

○下丸子図書館 《子ども・子育てコーナー》

子育てに重点を置いた蔵書を行っているほか、子育てをテーマとした資料を多角的に提供している。

また、区が策定した計画、予算・決算関連資料、区役所各部の事業概要等の閲覧、貸出しを行っています。

なお、行政資料の有償頒布については、実施していません。

所蔵している行政資料の例

○計画書

「おおた未来プラン 10年 後期」「おおた教育振興プラン 2014」など

○予算・決算関係資料

「大田区各会計予算 大田区各会計予算事項別明細書」「歳入歳出決算概要説明書」

○区役所各部の事業概要

「大田の教育概要」「こども家庭部事業概要」

#### (4) 利用者に対応したサービス

##### ア 児童向け、乳幼児とその保護者向けサービス

##### (ア) 専用コーナーの設置

幼児期から本に親しみ、読書習慣を身に付けられるよう、小学生以下の子どもを対象とした児童書コーナーを全館に設置し、児童用の図書のほか、絵本や紙芝居なども貸出しています。また、中学生・高校生向けのコーナーを設置している館(大田、大森南、大森東、馬込、池上、久が原、浜竹、羽田、下丸子、蒲田)もあります。季節行事などをテーマに児童書の展示などを行い、子どもの本への興味を育む活動も行っています。

児童向け図書展示の例

○おかあさん、おとうさんありがとう(母の日、父の日)

○雨とお花(6月)

○たなばた(7月)

○楽しい夏休み(7・8月)

○戦争と平和(8月)

○災害・防災(9月) など

### (イ) 集会行事の開催

各館では、定期的に児童や乳幼児とその保護者向け集会行事を開催しています。内容は、読み聞かせ(おはなし会)、本の紹介(ブックトーク)、図書館のバックヤードも含めた見学会、体験学習会等です。

また、図書館職員が出向いて読み聞かせを行う出張おはなし会や保育園がクラス単位など集団で来館した際に読み聞かせを行う来館おはなし会も実施しています。

#### 児童向け集会行事の実例

- あかちゃんおはなし会(おひざでだっこ)
- 小学校高学年向けブックトーク
- 科学のおはなし会(科学の読み物紹介、おはなし、実験)
- 児童向け映画会
- 人形劇公演
- 工作会
- 母の日・父の日似顔絵展示会(幼児・児童のお母さんの似顔絵展示)
- 女子プロバスケットボールチームのおはなし会、サイン会

### (ウ) 所蔵図書資料のリサイクル

子どもの読書活動を推進するため、児童書等の入れ替えの際に区内の保育園・小学校等へ児童書等を配布して再利用を図っています。

## イ 区立小中学校との連携

### (ア) 小中学校の授業等への協力

区内の小中学校に対して、学級単位や学年単位、あるいは学校図書館に児童書を長期に貸出しています。

小中学校が授業の中で調べ学習を実施する場合には、図書館職員が学校に出向き、図書館での資料の探し方などについて説明しています。また、必要な図書資料を学校へ1か月を期限として貸出しています。

このほか、小中学生の施設見学の受け入れや、キャリア教育の一環として行われている職場訪問、職場体験等の受け入れ先施設となること等を通じて学校教育の充実に協力しています。

### (イ) 学校図書館支援事業

学校図書館のさらなる充実と利用の拡大を図るため、専門的な視点からその活動を支援する学校図書館支援事業を実施しています。事業内容は、学校図書館ボランティアに対する支援、学校に対する図書の整理等に関する助言・指導等の技術支援、学校図書館内の環境整備や図書の利用案内等の学校図書館の運営支援です。支援する時間は1校あたり年間

70 時間としています。教育委員会では、平成 28 年度から 3 か年計画で小・中学校全校に読書学習司書の配置を進めていますが、区立図書館では、この読書学習司書とも連携し、学校における読書活動の推進に貢献しています。

#### 支援の実例

##### ○児童生徒への学校図書館運営の指導

図書の返却、百科事典の使い方、図書のパネル展示の方法など

##### ○児童生徒への学校図書館利用についての指導

図書室利用ガイダンスの実施と調べ学習の支援

##### ○ボランティアへの指導

読み聞かせ、ブックトークの指導

##### ○司書教諭、読書学習司書、学校図書ボランティアへの支援

新着図書受入れ、蔵書点検への協力

#### 読書学習司書との連携の実例

##### ○中学校調べ学習への資料提供

授業テーマ「電子メディアとの接し方を考える」に関する資料提供

団体貸出しの例

##### ○東京オリンピック・パラリンピック開催に関連した国際理解教育のために、ポルトガル、パナマ、ナミビア、ミャンマーの 4 か国に関する資料提供

## ウ 障がい者・高齢者向けサービス

### (ア) 貸出条件の緩和

身体に障がいのある方には、貸出条件を緩和し、1 回に貸し出せる視聴覚資料を 10 点までとし、貸出期間は 1 か月以内としています。

### (イ) 大型活字本の貸出し

視力の弱い方のために作られた大きな活字の本を全館で所蔵し、閲覧や貸出しを行っています。

### (ウ) 対面朗読

大田、大森南、大森東、大森西、入新井、馬込、久が原、洗足池、浜竹、羽田、下丸子、多摩川、蒲田、蒲田駅前の 14 館では、視覚障がいのある方のために対面朗読室で希望の図書を朗読するサービスを行っています。

### (エ) 録音図書の作製、貸出し

大田、大森南、大森東、大森西、馬込、下丸子、蒲田駅前の 7 館では、視覚障がい等の方のために希望の図書を録音し、貸出しているほか、所蔵している録音図書、録音雑誌の貸出しもを行っています。



(d) 宅配

区内在住者に限り、身体障がい等で来館できない方のために希望に応じて図書やCD・カセットテープを自宅まで届けています。

(e) 郵送

録音図書、録音雑誌を所蔵している大田、大森南、大森東、大森西、馬込、下丸子、蒲田駅前の7館では、視覚障がいのある方を対象に、これらを希望に応じて郵便で送付するサービスを行っています。

表4 障がい者サービス一覧

館名 項目	大田	大森南	大森東	大森西	入新井	馬込	池上	久が原	洗足池	浜竹	羽田	六郷	下丸子	多摩川	蒲田	蒲田駅前
宅配	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
郵送	○	○	○	○		○							○			○
対面朗読	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
録音図書作製	○	○	○	○		○							○			○
大型活字本	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大写本作製													○			

\* 郵送サービスについては、拠点館のみで実施する方針としている。

表5 障がい者対応設備一覧

館名 項目	大田	大森南	大森東	大森西	入新井	馬込	池上	久が原	洗足池	浜竹	羽田	六郷	下丸子	多摩川	蒲田	蒲田駅前
自動ドア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
点字ブロック		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○		○
エレベーター				○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○
車椅子用トイレ		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
車椅子用閲覧机			○		○				○	○				○	○	○
車椅子の常備			○	○				○	○		○		○			○
対面朗読室	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○
拡大読書器					○					○			○			○
障がい者用駐車場	○					○	○	○	○	○	○			○	○	

エ 外国人向けサービス

外国人向けのサービスとしては、外国語資料の提供や「大田区立図書館ガイド」外国語

版(英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版)の作成、配布があります。配布場所は、各区立図書館、大田文化の森情報館(図書コーナー)、障がい者総合サポートセンター(声の図書室)、各特別出張所、区役所戸籍住民課窓口、同国際都市・多文化共生推進課及び mics おおた、です。

また、書棚のサイン表示を多言語にしている館もあります。

## (5) 多様な学習機会の提供

### ア 集会行事等の開催

利用者の自主的、自発的な学習活動を支援する取組みとして、集会行事を開催しています。内容は、各館の指定管理者がそれぞれのノウハウを駆使した自主企画となっています。

また、馬込文士村など各館の地域性や特色を生かした図書展示も行っています。

#### 集会行事の実例

- 防災講演会(区防災担当者の講話と被災地からのメッセージ等)
- 大人のスタンプラリー
- 大人の紙芝居
- 生涯学習講座(「アロマセラピーでストレスケア」「エンディングノートは始まりノート」など)
- ブックトラベル
- 大人のための朗読会
- 映画会

### イ 集会室・多目的室の貸出し

馬込図書館に設置された集会室は、区民活動関係団体が使用できるほか、大森南、大森西、久が原、洗足池、羽田、下丸子、多摩川、蒲田の 8 館に公益的・公共的団体等が使用できる多目的室を設置し、生涯学習活動の機会を提供しています。

## (6) ボランティア活動等の促進

### ア 読み聞かせボランティア講座

図書館で読み聞かせボランティアとして活動することを希望する区内在住者を対象に講演会、初級講座、ステップアップ講座を実施してボランティア活動の促進に努めています。

#### 実績(平成 28 年度)

講演会	1 回	参加者	延べ 88 人
初級講座	3 日×3 回	参加者	延べ 266 人
ステップアップ講座	3 日×2 回	参加者	延べ 101 人

### イ 音訳者現任講座・養成講座

録音図書、録音雑誌の作成や対面朗読に従事する図書館の音訳ボランティアの技術向上を図る現任講座を実施しています。また、必要に応じ音訳ボランティアの養成講座を実施しています。

平成 28 年度実績	現任講座	5 日×1 回	参加者	延べ 61 人
* 講座は、現任者のスキル向上のための現任講座と新規に従事する方のための養成講座とがあり、状況を勘案しながら、どちらかの講座を年 1 回開催している。平成 28 年度は、現任講座を実施した。				

## 第3 区立図書館の課題と解決に向けた方向性

### 1 施設配置

区立図書館 16 館では、1 館あたりの人口は、4 万 4697 人、大田文化の森情報館を加えた 17 館では、4 万 2068 人で、昭和 49 年当時に構想された「人口 5 万人あたり 1 館」の水準は達成されています(平成 29 年 3 月 31 日現在)。23 区で比較すると 1 館あたりの人口の多さでは、区立図書館 16 館で 9 位、大田文化の森情報館を加えた 17 館では 10 位となっていますが、23 区の 1 館あたり人口は、3 万 5 千人から 5 万人未満までに 9 区が集中していることから、大田区立図書館の 1 館あたり人口は、23 区の中で平均的な範囲内に収まっていると考えられます。

もうひとつの条件である「半径 900 メートル以内、徒歩 15 分以内に 1 館」については、田園調布地区のかなりの範囲がカバーできていない状況があります。

また、特別出張所の管轄区域という視点からは、調布地区に属する田園調布、鶉の木、千束の 3 特別出張所管内には図書館が設置されていません。平成 28 年度のアンケート調査において、区立図書館を利用しない理由として、「図書館が遠いから」を挙げたのは、大森、蒲田、糀谷・羽田の 3 地域では、約 7 パーセントであったのに対して調布地域は、17.6 パーセントと 2 倍以上になっています。このことは、調布地域に図書館が少ないことを反映しているものと考えられます。

他区では、図書館以外にも公共施設内に読書スペースや区立図書館から取り寄せた図書資料を貸出す専用窓口を備える図書館のサテライト・スペースを設けて、利便性の向上を図っている例があります。今後は、図書館配置についての「人口 5 万人あたり 1 館、半径 900 メートル以内、徒歩 15 分以内に 1 館」という条件に近づくよう、建替えの機会等を捉えて、改善に努める共に、このようなサテライト・スペースの設置により解決を図っていく必要があります。

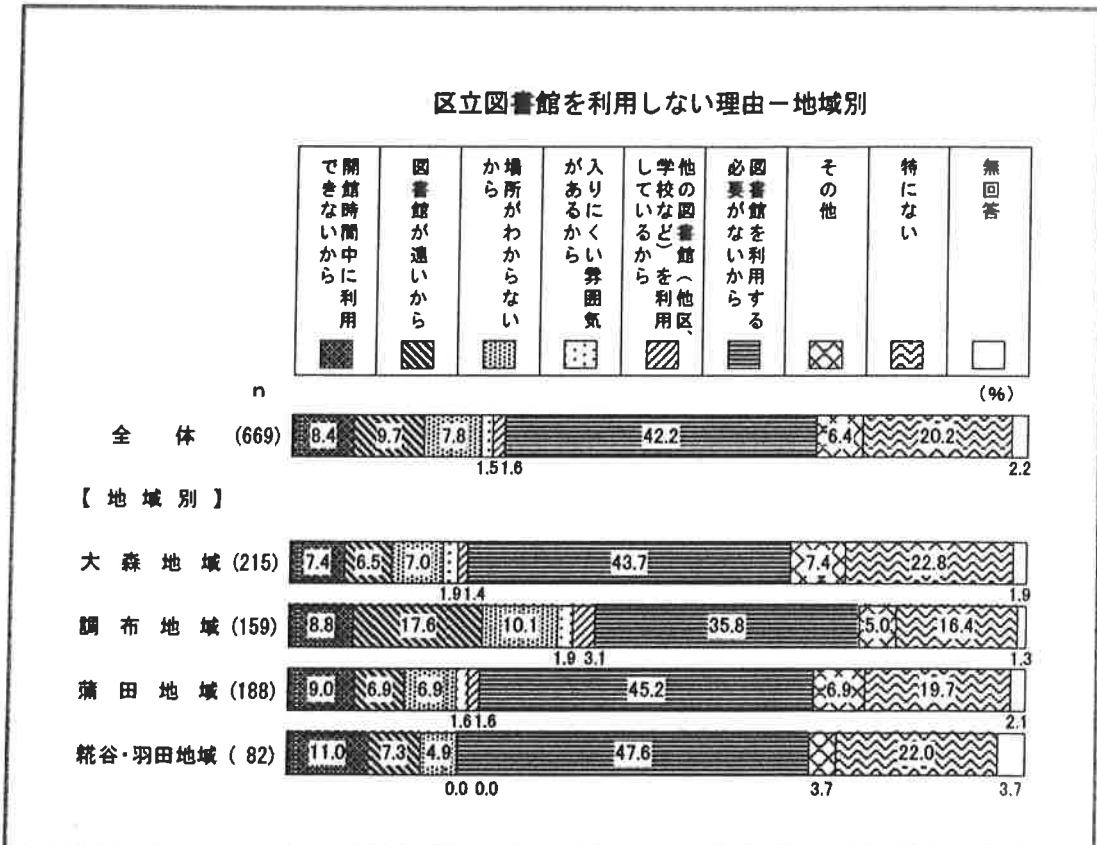
#### ○区立図書館館長の報告

私自身は、中野区在住ですが、1 館あたり人口を比較すると大田区は、4.6 万人、中野

区は 4.1 万人でした。大田区は図書館が多いという印象を持っていましたが、館数としては、極端な差はなく、現在の 16 館は、妥当性があると考えています。

他区で実施している例のある、返却と予約図書資料の取置きと貸出し業務等を行うサテライトタイプのミニ図書館の新設は、利便性の向上につながると考えます。

図 2 平成 28 年度区民アンケート調査



## 2 建物の更新

図書館の建物については、下丸子図書館が唯一耐震上の課題を抱えていましたが、平成 27 年度に改修工事を完了し、耐震性に課題を抱える図書館はなくなりました。しかしながら、昭和 12 年に逓信省の施設として建設され、築 80 年の池上図書館は、強固な構造で耐震上は問題ないものの、館内設備の老朽化等の問題を抱えています。例えば、学校の建替えの場合、方針決定から竣工まで長いもので 7・8 年を要する場合があります。改築期間を考慮すれば、図書館についても築 45 年以上経過している館については、建替えの準備を始める時期に来ていると言えます。現在、池上図書館については、再整備が計画されている東急線池上駅舎への移転を想定して施設更新の検討が進められています。築 47 年を数える大田図書館、築 46 年の馬込図書館についても、早期に具体的な検討に着手する必要があります。

表 6 各館の建設年及び築年数

館名	建設年	築年数
大田	1970	47
大森南	1976	41
大森東	1982	35
大森西	1986	31
入新井	2011	6
馬込	1971	46
池上	1937	80(※1)
久が原	1984	33

館名	建設年	築年数
洗足池	1996	21
浜竹	2003	14
羽田	1994	23
六郷	改築中	—
下丸子	1975	42(※2)
多摩川	1983	34
蒲田	1991	24
蒲田駅前	1981	36

※1 池上図書館は、昭和12年築であるが、強固な建物で耐震上は問題がない。

※2 下丸子図書館は、平成27年度に耐震改修工事を行っている。

### 3 管理運営

大田図書館を除く全館で指定管理者制度による運営が行われていますが、平成27年度の同書数は、直営だった平成17年度と比較して169人の増、6.3倍に増加し、レファレンス体制が格段に向上しています。受託事業者は、大田区以外の公立図書館等の指定管理も受託しており、事業者全体としてのスケールメリットを生かした経営の成果であると考えられます。

また、各館の企画展示や集会行事の企画、実施についても、各事業者の創意工夫を生かした取組みが行われているほか、毎年行っているモニタリングにおいても、安定した経営状況の下に運営が行われていることが確認されています。大田図書館が方針の策定や施策立案を担う部門を直営として中央館としての役割を担い、地域館が指定管理者の強みを生かした運営を行う、という役割分担が一定の成果を挙げていると考えられます。今後も引き続き大田図書館の管理部門を直営として維持し、区の図書館行政の中核として舵取りをしながら、指定管理者制度のメリットを生かして地域館を効率的・効果的に運営していくことが適切であると考えられます。

表 7 司書の人数と司書率の推移

項目(単位) 年度	人 数(人)	司書率(%)
平成 28 年度	187	54
平成 27 年度	189	53
平成 26 年度	193	57
平成 25 年度	184	58
平成 24 年度	179	56
平成 23 年度	191	56
平成 22 年度	173	52
平成 21 年度	151	49
平成 20 年度	131	45
平成 19 年度	123	43
平成 18 年度	105	38
平成 17 年度	30	37
平成 16 年度	35	41
平成 15 年度	34	29
平成 14 年度	35	12
平成 13 年度	24	12
平成 12 年度	31	15

#### 4 休館日、開館時間

図書館職員の資質の向上を目指す研修の実施と、館内整理の必要性から、月 1 日及び特別整理期間として休館日を設けることは、円滑な運営上やむをえないと考えられます。

開館時間については、駅に近い 2 館(入新井、蒲田駅前)について、仕事帰りの区民利用を考慮し、開館時間を 1 時間延長して午後 8 時までとしています。図書館職員への聴き取り調査では、午後 7 時過ぎの利用は少ない、との現状が報告されています。開館時間延長については、図書館の利用案内の中で触れていますが、時間延長について強調した広報は行われてきませんでした。このため、駅に近い図書館の開館時間延長を継続、あるいは館数の拡大を行いながら、広報の強化に取り組み、引き続き利用状況の推移を見守っていく段階にあると考えられます。

##### ○入新井図書館長の報告

入新井図書館は、JR 大森駅に近いこともあり、仕事帰りの方を含め、多くの区民の方に利用いただけるよう、開館時間を午後 8 時までとしています。閲覧室、キャレル席い

は一定の利用者の方が閉館まで利用されていますが、午後 7 時を過ぎると利用者は少なくなる傾向があります。20 代から 40 代の男性の登録率が低いので、この年代の区民や区内在勤者への PR を強化できれば、利用率を高められる可能性があると考えます。

## 5 図書館資料

区立図書館では、館ごとに集中的に収集を行う分野を決めています。本門寺近くの池上図書館の担当分野は、「宗教」であり、羽田空港に近い羽田図書館は、「外国語」を担当する等、地域性に配慮していますが、日本十進分類表により分担を定めているため、かつての松竹蒲田撮影所の地域にある「蒲田駅前図書館」が統計、医学、薬学を担当しているなど、各図書館の地域性と一致していない館もあります。

そこで、洗足池図書館に設置している勝海舟コーナーや馬込図書館の文士村展示スペースなどのように特設コーナーの設置や企画展示を通じて、各館の地域性豊かな図書館づくりをさらに推進していくことが必要です。

現在では、調べものがある場合にインターネットを使用して、区立図書館以外の図書館にどのような図書資料が所蔵しているかを調べることができるようになっているほか、他の自治体では、資料そのものをデジタル化して公開している図書館もあります。

また、区民の中には、古い文書や写真、映像などを所有している方々も多くおられます。これら所有物の中には、昔の地域の姿を伝える貴重な資料としての価値を有するものも多数あると考えられます。郷土博物館と連携し、歴史的な地域資料の収集を行い、デジタル・アーカイブ化するなどの保存の取組にも着手する必要があります。

収集する図書の選定については、各区立図書館が案を作り、大田図書館が「大田区立図書館選書基準」に基づき決定しています。各館がリクエストを受けたものの、購入を見送った図書についても、確認を行い、大田図書館が一元的に管理しています。

また、大田文化の森情報館図書コーナーの購入予定図書については、大田図書館で確認し、意見を述べていますが、最終的に購入図書の決定は、大田文化の森情報館に委ねられています。図書館同種施設も含め、区立図書館が区民からの要望を公平に実現し、統一的な基準に沿った選書を徹底するうえで、決定権限の統合や購入を見送った図書の確認を大田図書館で行うなど、区主体の一元的管理を強化していく必要があります。

図書以外の所蔵資料については、現在、CD、DVD、カセットテープ、ビデオテープを所蔵していますが、カセットテープ、ビデオテープについては、再生機器や記録媒体の製造が極めて少量になってきており、メディアとしての役割を終えつつあると考えられます。ボランティアの協力により収録した朗読音声など、著作権に抵触しないものについては、将来も活用できるよう、計画的にデジタル・アーカイブ化する取組に早期に着手する必要があります。

また、近年、公立図書館で電子書籍を貸出すサービスが注目を浴びています。図書館サイトにアクセスして、図書館の図書資料を読むことができれば、ALS(筋萎縮性側索硬化症)や脊椎損傷

等、全身性障がいの方を含め、あらゆる区民が場所や時間に縛られることなく自在に図書資料を利用することが可能となります。

しかしながら、販売用電子書籍は相当数が発行されているのに対し、図書館において貸出しができる電子書籍は、著作権法の関係から数が限られているほか、電子閲覧方式の乱立やコストが紙のものに比べて割高となるなどの課題があります。現時点では、電子書籍を試験導入し、将来に備えたノウハウの蓄積に努めるべきであると考えられます。

表 8 各館別所蔵資料数(平成 28 年度)

項目 館名	図書		CD (タイトル)	視聴覚資料		
	一般 (冊)	児童 (冊)		カセットテープ (タイトル)	ビデオテープ (タイトル)	DVD (タイトル)
大田	209,604	46,790	4,982	796	268	362
大森南	76,101	23,367	5,946	2,366	0	178
大森東	73,544	19,399	5,030	1,249	64	175
大森西	74,850	22,373	5,854	1,510	85	214
入新井	68,727	23,411	4,737	0	1	166
馬込	96,175	22,262	6,009	129	102	193
池上	87,505	23,724	5,029	252	33	198
久が原	65,965	22,177	4,917	202	44	188
洗足池	93,566	22,977	4,146	0	215	211
浜竹	69,897	20,649	5,437	340	1	178
羽田	88,969	32,470	5,515	453	504	222
六郷	60,338	20,724	4,151	151	94	209
下丸子	100,744	45,266	5,512	5,176	1	191
多摩川	67,586	21,377	2,967	237	4	168
蒲田	78,773	21,665	18,834	256	720	223
蒲田駅前	97,076	32,861	5,958	221	16	183
図書館合計	1,409,420	421,492	95,024	13,338	2,152	3,259
大田文化の森情報館(※)	65,827	20,219	4,949	0	1	162
総合計	1,475,247	441,711	99,973	13,338	2,153	3,421

※ 大田文化の森情報館は図書館同種施設